

# 総合計画のための調査結果(下)

## ——市民からの意見抜粋——

■南国市の場合には緑と結びつけた「総合的な田園都市」づくりを目ざし、市民参加による20～30年の長期計画をつくり、第一次・第二次計画というような積み上げ行政を進めるべきだ。

空港や高速道路など、市民をめきにした計画が外部から持ち込まれ、その対策に追いまわされるような市政が続く限り、市政は市民のものにはならないでしょう。

■教育問題、環境問題など、行政そのものが一方的なきらいがある。市民として将来の発展を願う時、現在の市政では、高知市との距離があまり変わらない野市町や土佐山田町に街づくりの先を越され、言い替えば「通過都市」になる可能性が強く、将来の発展が心配される。

■行政に対する信頼が薄く、余りにも反対が多過ぎる。執行部、議会の良識ある判断と積極的な対応で、市政発展のため努力と勇断実行を求む。

他に責任を転嫁する思想がはびこり過ぎているので、道徳教育にも力を入れるべきです。

また、生産性の高い無公害企業を誘致するなど、行政指導を強く求めたい。

■県下で2番目に多い人口を持ちながら、市そのものに活気が見られない。理由は、市内の企業の不振や商店街の貧弱さ、空港対策に重点をおく関係で、各種施策についての思考が十分でない。

有能な人材が市外へ流出しないためにも、企業の誘致や産業開発など、南国市特有の政策を早期に考える必要がある。

■後免町を基本的に造り直して、県内第2の都市として発展するよう、まず東西・南北道路の整備をするなど、南国市発展の基礎づく

りをしてほしい。

本市は交通の便は良いし、産業が発展する素地は十分あると思うので、優良な企業を誘致して豊かな市造りをお願いしたい。

■南国市は将来高知市のベッドタウンとして好むと好まざるとにかかわらず、人口の増加が見込まれる。そうすると、人口増に伴う種々の問題が生じてくるはずで、例えば上下水道、し尿処理、教育・文化施設などが……。5～10年後には抜き差しならぬ事態になることが明白です。

にもかかわらず、これらのことに積極的に取り組む行政の姿勢が伝わってきません。私がいずれだけでもいいのでしょうか。

■本市の代表的な地場産業と言えば農機具製造でしたが、この種の企業は景気の変動が激しく、親企業、下請企業ともに不安定な状態です。

行政は地場産業の育成のために、積極的な指導を行なってほしい。行政の前向きな姿勢こそ、市の発展は無論、市民の生活安定につながっていくと信じています。

■「計画的な街づくり」——幹線道路の整備と区画整理がなされた住宅団地の造成、計画的な農地転用による宅地造成などを望む。今のままでは無策の状態では発展が期待できない。また、総合的な運動公園づくりを希望する。

■人口が増える事が市の発展につながるとは思えない。道路、教育施設、生活用水施設、汚水処理、し尿処理施設など、生活環境の向上を先に図ってほしい。

■南国市の立地条件を考えると、高知市のベッドタウンにははならない。公園やその他の施設を整備し、自然との調和のとれた市独自の田園都市を目ざすべきだ。

## まず財政の

## 立直しを

▶今回の調査では、何と言っても回答率の低さが気になります。このことをどのように受け止めたらいいのでしょうか。1つは、行政に対してまったく関心がない。もう1つは、言っても無益だ。あるいは、行政を信頼してまかしているのか。やはり、前者の2つと見るべきでしょう。▶しかし、少なくとも大多数の市民が、南国市は、「交通の便など立地条件に恵まれ、将来性のある市」だと思っていることは確かです。▶遅れている道路網の整備や市街地の再開発、上下水道、し尿処理、教育・文化施設など生活環境の整備が急務だとしています。▶後手の行政や一方面的な行政を見直し、市民とのコンセンサスを深めながら、南国市独自の計画的行政を望んでいることがうかがえます。▶また、地場産業の育成、優良な無公害企業の誘致など、働ける場を求めています。▶市民が物質的にも精神的にも、ゆとりある豊かな生活を営むためには、自然環境、生活環境、生産環境が調和し、さらに雇用の場の確保、生活関連施設の整備、教育、文化など高い水準のものが要求されます。▶今から1,300年も昔、土佐の国府が今の比江の地におかれ、政治、文化の中心地であった私たちの南国市が、第2の隆盛をきわめ、名実ともに副県都として栄えるためには、市民1人ひとりの生活基盤の安定しかありません。▶「財政ピンチ」の南国市が、市民の要求に答えられる——いわゆる足腰のしっかりした自治体に生まれかわるのはいつのことでしょう。市民の期待は大きい……。